

カメムシ類の発生が非常に多く発生しています 早期水稻への影響を減らす対策を取みましょう

新聞紙面・メディア等でも出ているように、今年は例年に無くカメムシが多く発生しています

減収・斑点米による品質低下を防ぐためにも以下の対策の徹底をお願いいたします

- コシヒカリ出穂前の6月中旬までに畦草刈りを終わらせる
(晩生・WCS含む)
水田内に発生したヒエはカメムシの基地となるので除去する
- 穂揃い期とその7～10日後の2回防除を基本として、その後のカメムシの発生量を見ながら追加防除を行う
※薬剤は早期水稻こよみに準じる
※晩生品種はさらに防除が必要になる可能性があります
(早生品種収穫後が特に注意が必要)
- 地域内で可能な限り集中した時期に防除を行い、地域全体のカメムシの量を減らす
- 近年、「イネカメムシ」の発生が増えてきています
(別添農水省資料参照)
イネカメムシが多いほ場は不稔による減収の影響があるので
走り穂～出穂期の防除が必要となります



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



ミナミアオカメムシ



イネカメムシ